

編集室

いーでん
E電、マニフェスト(選挙公約)、アジェンダ(政策課題)など、全く定着しなかったり、一時はよく見たり聞いたりしたが、しばらくすると話題にも上らない。そんな言葉は少なくない。

こくてん
E電は、国鉄からJRに民営化された際の国電に代わる首都近郊路線の新たな呼称。しかし、ほとんど誰からもそう呼ばれることはなく、親しまれずに消えていった。生まれる随分前の話だから、知らない学生も多いだろう。

E電の代わりに、社名のJRが電車や路線を指す名前として使われ出した。マニフェストやアジェンダも廃れた。耳障りの良い甘言を得意とする政治家のメッキが、やがて剥がれ落ちていくように。

親しまれ、浸透する言葉もあれば、そうでない言葉もあるが、そのはやり廃りの話は置いておく。

これを書いている3月10日現在、新型コロナウイルスの人への感染が国内外で広がっている。いったん陰性と診断され回復したが、また症状が出た大阪府の女性が、再検査で陽性となったケースも報道された。潜伏期間も人によってまちまちで、いまだに正体不明なところの多いウイルスだ。

ニュースで「インフルエンザが猛威」などとよく報じられるが、猛威を振るっているのかどうか、どの地域でどれくらいの規模なのか、はっきりとわからないところも人の恐怖心をおおっている。

世界保健機関(WHO)による正式名称は「COVID-19」だという。こちらの言葉は世間に浸透することなく、さっさとお引き取りを願いたい。感染拡大が一刻も早く終息し、社会人となる卒業生がのびのびと新生活をスタートするためにも。

(編集長 北村豊)

STAFF

◎取材協力

学事部	国際センター
各学部事務室	入学センター
大学院事務室	キャリアセンター
学生部	学友会
ボランティアセンター	経理研究所
中央図書館	委員会 ほか

◎写真提供&協力

「中大スポーツ」新聞部

◎学生記者

本間友理香	宮田詩織	宮本大句見
中里真侑	齋藤優衣	津田翔
平岡亜美	石井伊蓊	森康太郎
松村吏紗	中村美咲	澤昌彩香
山口真歩	(順不同)	

◎制作協力

平田碧 太田まゆみ 土谷彩絵子(株式会社ツグミ)
稲葉美枝子(株式会社オーク)
桧一郎 村田朋隆(研精堂印刷株式会社)
亀井宏昭

NEXT
ISSUE

『HAKUMON Chuo』2020 春号
No.266 4月2日発行予定

学生記者が
総力取材!!

お楽しみに!



2020 早春号 No.265

2020(令和2)年3月24日発行

発行：中央大学広報室
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

メールアドレス：hc@tamajs.chuo-u.ac.jp
編集担当：『HAKUMON Chuo』 ☎042-674-2048